

教科名	探究科	校種	高等学校
-----	-----	----	------

科目の配当				
学年	科目名	必・選	単位	授業展開など、授業の形態
1年	探究	必	1	共通でクラスごとに展開
2年	探究	必	1	次の3つのコース別に展開 ・イングリッシュコース ・アカデミックコース・スーパーア文系 ・サイエンス・スーパーア理系
3年	探究	必	1	次の3つのコース別に展開 ・イングリッシュコース ・アカデミックコース・スーパーア文系 ・サイエンス・スーパーア理系

・発表し科目名(教科名)		探究 (探究科)			
学年	1	単位数	1	必修・選択・展開	必修
目的	1. 深い学び、対話的な学び、主体的な学びを通し、生徒の問題解決能力を育てる 2. 国際社会の課題（SDG s）についての知識や、問題意識を持たせ、卒業後の行動につながる力を育成する 3. 学びの方法（アカデミックスキル）を体験的に学び、主体的に情報の収集・表現・発表ができる能力を育てる 4. 修得した知識・アカデミックスキルと、自らの問題意識をもとに、論文を作成する				
学期	授業の項目		内容		
1学期	①情報を整理し文章でまとめよう ②要約しよう ③ポスターセッションをしよう		・情報をイメージマップ・ベン図などの思考ツールを使って整理発表し、文章にまとめる ・AI時代の仕事についての動画から知識を得つつ、話の内容を要約するスキルを習得する ・テキストを用い、グループでポスターの形にまとめ発表する		
2学期	④本から情報を抜き出そう ⑤やわらかく発表しよう		・文献の内容から必要な情報を正しく読み取るスキルを身につける ・漫才の台本の作成を通じて、笑いや文章の組み立てについて学ぶ ・漫才の発表を通じて、あたたかく柔らかな発表を身に着ける		
3学期	⑥問いを立てよう ⑦レジユメを使って発表しよう		・論文制作の第一歩として、問いを立てる練習を行う ・テキストを用い、個人でレジユメの形でまとめさせる		
評価の観点	【知識・技能】 (30%)	学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けており探究することの意義や価値を理解している	・課題解決に必要な語句の理解		
	【思考・判断力・表現】 (40%)	実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方をを用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめ、発表している	・ワークシートの思考問題 (例) 意見記述、論述問題 ・レポート・プレゼン・発表 ・話し合い・作品制作		
	【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)	実社会や実生活の中から問いを見出し、主体的・協働的(協同的)に課題の解決に取り組み、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている	・振り返り ・授業態度・課題提出		
評価の方法と割合	・制作物・発表・課題レポートと参加態度など平常点を加味して評価する ・定期テストは実施しない				
教科書・副教材等	● 教科書 : なし ● 副教材 : なし				

科目名 (教科名)		探究 (探究科)			
学年	2	単位数	1	必修・選択・展開	必修
目的	1. 深い学び、対話的な学び、主体的な学びを通し、生徒の問題解決能力を育てる 2. 国際社会の課題 (SDG s) についての知識や、問題意識を持たせ、卒業後の行動につながる力を育成する 3. 学びの方法 (アカデミックスキル) を体験的に学び、主体的に情報の収集・表現・発表ができる能力を育てる 4. 修得した知識・アカデミックスキルと、自らの問題意識をもとに、論文を作成する				
学期	授業の項目		内容		
1 学期	①本読んでビブリオバトルをしよう ・論文のテーマになりそうな本を決める ・ビブリオバトルの準備をする ・ビブリオバトルをする		<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいは本を読んで、要約、プレゼンする力を育てる ・本を読むことを目標に、自分の興味があり論文で使えるような本を1冊選び、紹介する用意をしながら読む ・読んだ本を短時間で紹介するビブリオバトル形式で発表する 		
	②ディベートをしよう ・賛成・反対の根拠を調べる ・ディベート実施①② ・個人で意見をまとめよう		<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の行き先・携帯の扱いなど身近なテーマをもとにディベートを行う。ねらいとしては「根拠をもって話す」「根拠を調べながら知識を増やす」ことを目的とする ・ディベートを踏まえ自分で立場を明らかにし文章を書く 		
2 学期	③多面的にもものを見よう ・ICUの高大連携コンテンツを見よう①② ・内容をポスターにまとめよう (GW) ①②		<ul style="list-style-type: none"> ・同じテーマについて違う学問分野の視点からの講義を2つ聞いて、自分のワークシートに内容をメモする ・メモをもとに2つの講義の内容をグループで模造紙にまとめる、相互に評価する 		
	④論文のテーマを考えよう ・テーマを考える ⑤テーマについて調べてみよう ・調べてレジュメにまとめよう①②③ ・発表しよう		<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ決めについて可能であれば、1コマを使って大学教員による出前講義を企画する (候補者あり) ・自分の決めたテーマについて実際に調べて、A41枚のレジュメにまとめる。 ・小グループで発表をして、相互コメントする・振り返る 		
3 学期	⑥論文を書こう (1回目) ・調べて論文を書く ①②③④⑤ ・論文を相互評価する		<ul style="list-style-type: none"> ・論文の構成 (序論・本論・結論) を知り、調べながら実際に書いてみる (A4・2枚を目標に) ・提出をしてほかの人の論文を読んで、添削と相互評価を行う 		
評価の 観点	【知識・技能】 (30%)	学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けており探究することの意義や価値を理解している	・課題解決に必要な語句の理解		
	【思考・判断力・表現】 (40%)	実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方をを用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめ、発表している	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの思考問題 (例) 意見記述、論述問題 ・レポート・プレゼン・発表 ・話し合い・作品制作 		
	【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)	実社会や実生活の中から問いを見出し、主体的・協働的 (協同的) に課題の解決に取り組み、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り ・授業態度・課題提出 		
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> ・制作物・発表・課題レポートと参加態度など平常点を加味して評価する。定期テストは実施しない ・イングリッシュコースは必要に応じて内容を変更しながら、イメージ形式で授業をする ・サイエンスコースは必要に応じて内容を変更しながら、ゼミ形式で授業をする 				
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 : なし ワークシートを適宜配布する ● 副教材 : 「今がわかる 時代がわかる 世界地図2024」 (成美堂出版) 				

科目名 (教科名)		探究 (探究科)			
学年	3	単位数	1	必修・選択・展開	必修
目的	1. 深い学び、対話的な学び、主体的な学びを通し、生徒の問題解決能力を育てる				
	2. 国際社会の課題 (SDG s) についての知識や、問題意識を持たせ、卒業後の行動につながる力を育成する				
	3. 学びの方法 (アカデミックスキル) を体験的に学び、主体的に情報の収集・表現・発表ができる能力を育てる				
	4. 修得した知識・アカデミックスキルと、自らの問題意識をもとに、論文を作成する				
学期	授業の項目		内容		
1学期	①テーマを決めよう ②レジュメで作ろう ③レジュメで発表しよう ④論文を書こう I		<ul style="list-style-type: none"> ・高校2年時に考えたテーマをもとに、テーマを推敲する ・決めたテーマについて調べ、A4・1枚のレジュメにまとめる ・レジュメをもとに小グループで3分程度で発表する ・発表をもとにA4・2枚を目標に論文を作成する 1次提出を行い、書いた論文を相互添削する 		
2学期	⑤論文を書こう II ⑥ポスターセッションで発表しよう ⑦ポスターセッションしよう		<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の論文をアドバイスをもとにさらに推敲する 論文を完成させ最終提出を行う ・論文の内容を共有するため模造紙1枚のポスターにまとめる ・ポスターセッションを行い、お互いの研究成果を共有する 		
3学期					
評価の観点	【知識・技能】 (30%)	学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けており探究することの意義や価値を理解している	・課題解決に必要な語句の理解		
	【思考・判断力・表現】 (40%)	実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方をを用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめ、発表している	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの思考問題 (例) 意見記述、論述問題 ・レポート・プレゼン・発表 ・話し合い・作品制作 		
	【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)	実社会や実生活の中から問いを見出し、主体的・協働的 (協同的) に課題の解決に取り組み、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り ・授業態度・課題提出 		
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> ・制作物・発表・課題レポートと参加態度など平常点を加味して評価する ・定期テストは実施しない ・イングリッシュコースは必要に応じて内容を変更しながら、イメージ形式で授業をする ・サイエンスコースは必要に応じて内容を変更しながら、ゼミ形式で授業をする 				
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 : なし ● 副教材 : 「今がわかる 時代がわかる 世界地図2023」 (成美堂出版) ワークシートを適宜配布する 				